

講義年月日	2002年10月9日 (水)
講演者	松本 和子氏 (慶應義塾大学三田メディアセンター課長代理)
テーマ	Webページの作成と管理
講義内容	<p>1.三田メディアセンター (MC)でのHP作成の経緯 第1期 :研修を兼ね職員のWGで作成 第2期 :増加するコンテンツに対応する改訂 第3期 :デザインの外注</p> <p>2.三田MCのコンセプト <コンセプト作り> 他大学 一般企業のサイトを研究した。 (参考にしたサイト例) アップルコンピュータ (http://www.apple.co.jp/)・・・上部にインデックス 琉球大学図書館のホームページ (http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/)・・・左側にコンテンツ <コンセプト > 利用させる情報を見つけやすくする。学内、学外向けの両方を意識。 電子情報の提供。 <コンセプト > 情報要求の取り込み (オンラインリクエスト)。メンテナンスの省力化 (リンク集は最低限、担当者制の徹底)</p> <p>3.デザイン (外注してみてもわかること) 120万円の費用がかかった。コンセプトを明確にデザイナーに伝えるためには、ファイルのツリー構造を見せられるようにする。凝ったものは作らない。デザインを変更することは難しい。</p> <p>4.維持・管理 (外注か自前か) できるだけ簡単に。改訂を容易に。バックファイルの保存 (史料として残すかどうか)。</p> <p>5.三田MCでのHPの運用 ・ホームページワーキンググループ 各部署から1名+Web管理者。企画、予算化。各ページの日常的改訂はスタッフ。 ・ホームページデスク (技術サポート) 日常的改訂の反映。CGIの作成。</p> <p>6.三田MCでの運用状況 ホームページの実際の更新作業は、スタイルシートを使ってHP管理者が行うが、新着情報のような頻繁な改訂があるページについては、特別のHTMLの技術がなくても誰でも簡単にHPを更新することができるようにCGIを使っている。担当者が更新したいときに更新するので、HP管理者が更新するよりリアルタイムに利用者に情報提供ができる。</p> <p>7.WEBページの評価 アクセス数 (統計)をとる。日付を必ず入れ更新頻度を明確にする。リンク切れの確認は面倒でも定期的に必ず行う ナビゲーションの統一性を保つ。 次回リニューアルの際には、利用者のアクセス数から判断して、OPACより先電子ジャーナル・データベースを上位に持ってくる必要がある。また開館カレンダー、利用時間も同様に利用頻度が高いので上位にする必要がある。</p>
用語	CGI :WebサーバがWebブラウザの要求に応じてプログラムを起動するための仕組み。 ・ スタイルシート :あらかじめ決められた雛型のこと。
感想	ホームページの更新作業に全館員が携わっているというのは驚いた。しかし、慶應義塾大学では専門的な知識をもったWeb管理者がスタッフルームの作成をして、館員全員がホームページ作成できる環境づくりをしているからこそできるのではないかと感じた。
配付物	「Webページの作成と管理 慶應義塾三田メディアセンターの例」